



教育長 田中 康寛

暑中お見舞い申し上げます。夏本番となり、厳しい暑さが続いています。日々の体調の変化に注意してまいりましょう。

夏休みに入った直後、小中学生が亡くなるという水難事故が福岡県や三重県で起こりました。亡くなったお子さんが通っていた学校の校長先生は、会見で、「亡くなった児童の保護者のことを思うと、注意喚起が十分ではなかった」と述べられていました。夏休み前に安全指導を行っていたそうですが、人に伝えるということは難しいものです。各園・学校では、子どもたちが理解し行動につなげられるような言葉がけをしてまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類に移行して初めて迎えた夏ですが、ウイルスが無くなったわけではありません。感染しない、させないためには、家庭で心がけたいこと、部活動や外出時に気をつけたいことがあります。子どもたちが自己を管理し、手洗いや換気、咳エチケットなど、基本的な感染対策を当たり前に行えるよう、ご家庭でも引き続き、お子さんのサポートをお願いしたいと思えます。

また、猛暑続きの今年は、特に、熱中症対策も重要です。部活動の大会で外出する時や、屋内・屋外、いずれの活動においても、体調の変化に十分に留意してまいります。

学校では、子どもたちの健康を守るために日々様々な取組をしていますが、給食もその一つです。現状、多くの給食室にはエアコンが設置されておらず、近年の猛暑下での給食調理業務は大変過酷なものとなっています。そこで、この夏休み期間中にエアコンが設置されていない39校すべてでエアコンの設置工事を行い、給食調理場の環境改善を図ってまいります。

先日、「柏井納涼ふれあいの夕べ」に参加させていただきました。子どもみこしや盆踊り、花火などが行われ、多くの人で賑わっていました。子どもたちの満面の笑みが印象的で、地域で子どもたちが育まれていることを実感しました。家庭・学校・地域の連携は市川教育が大切にしてきたことの一つです。地域と学校との連携の仕方は、地域の特色に応じて様々あると思います。地域と学校とが対話をし、目指す子どもの姿や地域と学校との関わり方を共有し、持続可能なかたちで「地域とともにある学校」を実現できるよう取り組んでまいりたいと思えます。

また、市川・浦安支部中学校総合体育大会に出席した際は、各競技に臨む子どもたちの気迫が伝わってきました。子ども自身も保護者の皆様も子どもの成長を実感できるよう、結果だけでなく、頑張ってきた過程を子どもたちや保護者の皆様に伝えられるよう努めてまいります。